

「ポンプ・コンプレッサ流体性能設計の最新状況」

長原 孝英

株式会社日立プラントテクノロジー 研究開発本部 主任研究員

小林 博美

株式会社日立プラントテクノロジー 研究開発本部 主任研究員

日時: 2009年 7月29日(水) 13:00~14:30

会場: 東京大学工学部2号館 3F 232号講義室

要旨

ポンプ・コンプレッサなどのターボ機械は長い歴史があるが、その高性能化はモデル効率が約90%に近づいている現在も大きな研究テーマの一つである。最近、急激な進展が見られるCFD(Computational Fluid Dynamics)を流体設計に適用することによって、性能の一層の向上が可能となり、効率でさらに2~3%改善が見込まれている。このセミナーではCFDを流体設計に活用するための手法や評価方法及び流体設計技術の今後について概要を紹介する。

